

## 第43回特別展

—地の神への「いのり」—

### 銅鐸の世界展

当館で所蔵する唯一の国宝、**桜ヶ丘銅鐸**、**銅戈**は日本列島で初めて金属器を使用した弥生時代の最も重要な資料の一つであり、弥生時代の青銅器を当館の主要なテーマに位置づけ、その資料収集に努めてきた。今回の展示において、弥生時代の青銅器を中心に通観することによって「卑弥呼の時代」を中心とする時期の歴史を解明した。

また、同時に青銅器の鑄造方法を科学的に分析し、その復元を試みた。

会期／平成5年1月23日（土）～3月7日（日）

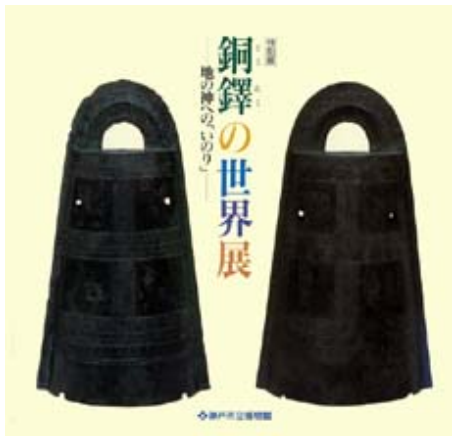
会場／南蛮美術館室、特別展示室1・2

主催／神戸市立博物館、神戸新聞社

開催期間／38日

入館者数／15, 320人

出品件数／350点



※この図録は完売いたしました。



桜ヶ丘銅鐸・銅戈